

第4章 風俗と社会生活

—— 日々の営みと行事 ——

日々の営み

戦後、帰村した村民は波平の一部に仮住まいを余儀なくされた。その後座喜味のトーガーと楚辺、大木地区が開放され南地区はそこに移動した。こうして大黒柱を戦争で失った住民の戦後の苦しい生活が始まった。村民の生活は食生活にも事欠き、物資の乏しい時代を米軍からの払い下げ・戦果・スクラップ回収等でたくましく生き抜いたのである。軍作業によって収入を得、学校や公民館等諸施設、住宅が地域住民のイーマールという相互扶助によって、ほどなく日常生活を回復していった。



160 終戦直後、読谷山村建設隊によって建てられた規格住宅。

161 戦前もそうであったが、終戦直後の民家はほとんどが茅葺きであった。



162 楚辺の茅葺き民家と子供たち。
1960年（昭和35）頃。



163 事前の荷車をもって宇加地の
田圃から荷物を運んでいると
ころを外人が撮影。
1947年（昭和22）。



164 米軍野戦用ベッドで遊ぶ子供たち。1955年（昭和30）頃。



165 終戦後のスクラップブーム。
鉄は全て拾い集め換金した。



166 渡慶次小学校の東側にタンクを
造り簡易水道が引かれた。
1953年（昭和28）



167 高志保の子供たち。フラフープ全盛期、学校でも家でもよく見かけた。1959年（昭和34）頃。



168 喜名の子供たち。
公民館前にて。



169 マチヤの前で。喜名
公民館前の饒波商店。



170 饒波商店前にて。
喜名の子供たち。



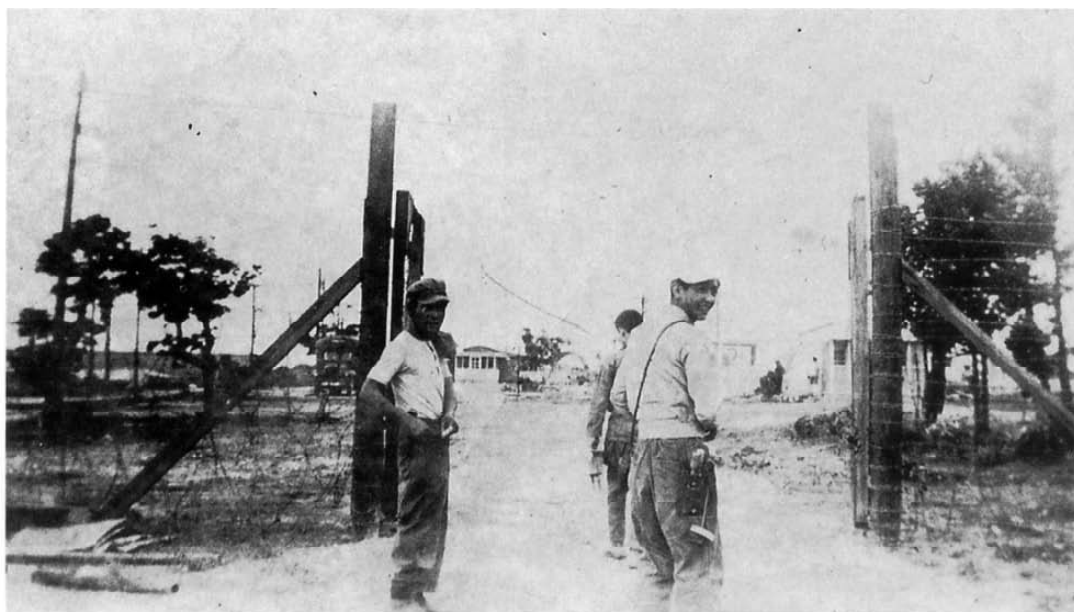
171 波平、戦争で焼けた
竈を新造する。
1964年(昭和29)頃。



172 亀甲墓庭での洗骨
風景。1955年頃火
葬が普及し見られ
なくなった。



173 門中墓の庭には一門
が集まりシーミーが
行われた。



174 軍作業、古堅のモーガンマナー嘉手納航空隊家族部隊のゲート前にて。
1946～55頃まで。



175 軍作業、弾薬庫で働く婦人。
1955年（昭和30）。



176 軍作業、楚辺PXのカウンター。1956年（昭和31）3月。



177 人馬一体となって荒れた畑を開墾する。



178 高志保にて、畑へ向かう馬車。現在ではほとんど見られない光景である。



179 大湾闘牛場での闘牛大会。1960年代。



180 高志保役場前の比屋根医院。



181 読谷診療所前にて、喜瀬川浩・
知花英夫医師と看護婦。
1947年（昭和22）頃。



182 村役場中庭にて第1回小児
予防注射。
1961年（昭和36）8月22日。

183 高志保公民館で行われた沖縄
赤十字病院の健康診断。
1958年（昭和33）6月28日。



184 高志保大通りの商店街。
1964年（昭和39）



185 ハイウェイ1（国道58号線）
伊良皆～比謝の間。



186 沖縄バス読谷出張所は現在の高志保入り口バス停近くにあった。
1950年4月読谷線が開通する。

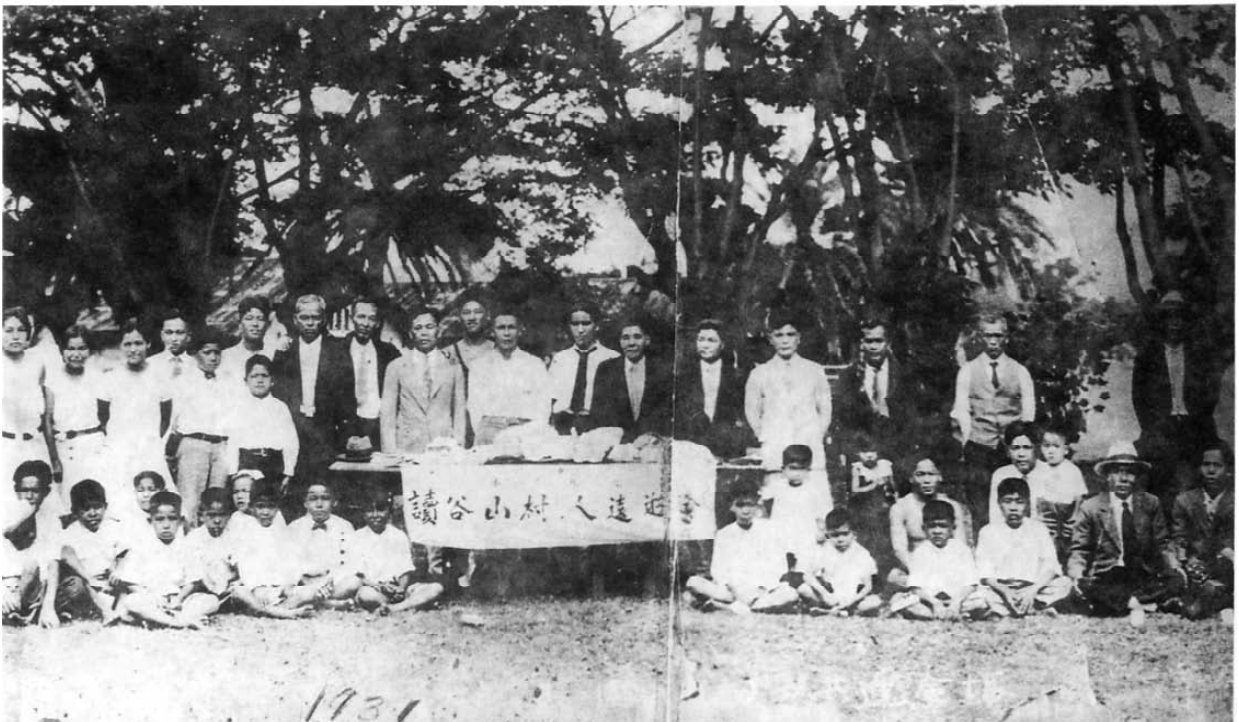
海外移民と八重山移住

読谷から戦前の1904年（明治37）のメキシコを皮切りに、ハワイ、フィリピン、南米各国に多くの移民者が雄飛させた。1935年（昭和10）の統計で645名を数えている。その移民者によって多量の物資が送られ、戦後の復興が援助された。

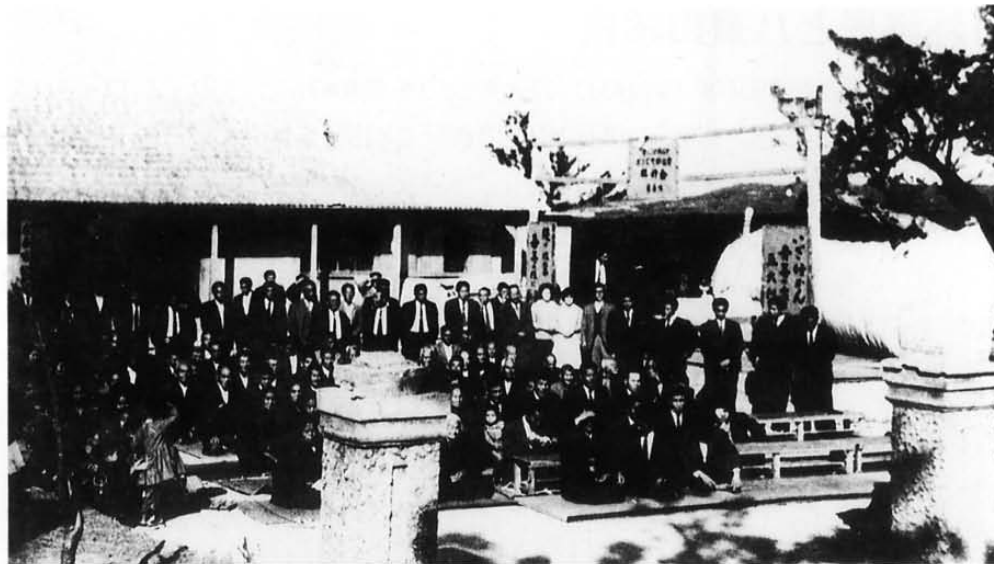
しかし、なおも戦後の不況は生活を逼迫させ、南米や八重山への開拓移住が県を挙げて奨励され、多くの村民が雄飛していった。特にボリビア移住は1954年6月の第1次から1964年4月の第19次までに363名を送り出している。



187 高志保の移民者、ハワイへむかう途中の宿泊先にて。1906年（昭和39）



188 ハワイ読谷山村人遠遊会。1931年（昭和6）



189 座喜味ポリビア移住者壮行会。1962年（昭和37）3月21日。



190 波平区ブラジル移民送別記念。
1950年（昭和25）7月14日。



191 世界のユンタンザンチュを迎えて。1990年（平成2）8月27日。

192 喜名区の八重山移住記念撮影。
1955年（昭和30）4月4日。



193 八重山米原への入植当時の
家並み。1953年（昭和28）。

194 八重山米原の村出身の
子どもたち。
1953年（昭和28）。

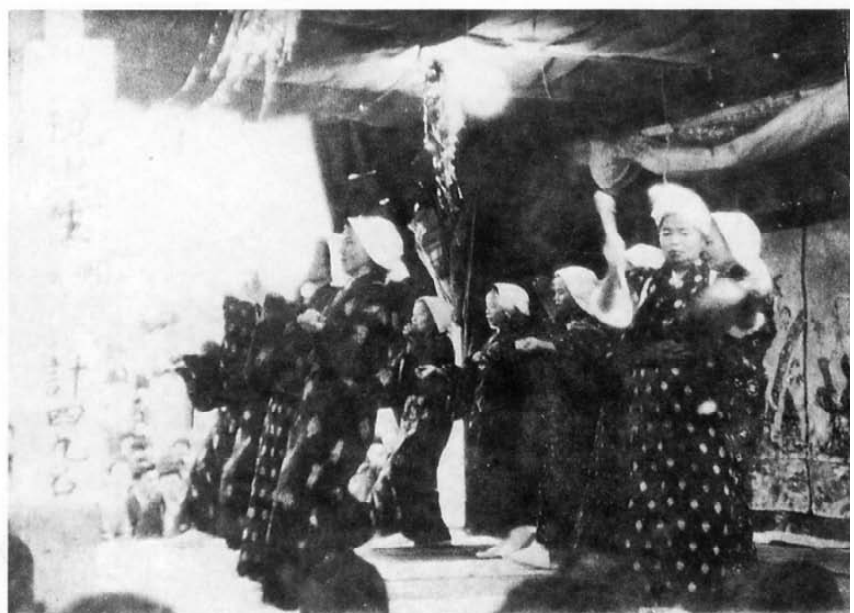


字の行事と闘い

生活が安定してほどなくして、出生祝・生年祝・敬老会・エイサー・ハーリー・綱引き・獅子舞等の伝統行事を興し、その行事とあいまって各地の伝統芸能を復活させた。特に波平の「長者の大主」、楚辺の「イリベーション」、高志保の「馬舞」、長浜の「チクタルメー」「京太郎」、瀬名波の「しゅんどう」「ヘイチョウ」、儀間の「南風ぬ島」等他には棒、獅子舞、組踊などが復活した。



195 大湾での出生祝い記念。1958年（昭和33）3月29日。



196 波平での出生祝いの余興風景。

197 旧渡具知公民館で行われた
敬老会と議員当選の祝賀会。



198 楚辺区の敬老生年合同
祝賀会。第1回は昭和
13年で、今年で56回
を数える。
1957年（昭和32）1月。



199 都屋区の生年祝いの様子。



200 敬老の日、100歳を迎えた宇座区の榎原カマさん。1977年（昭和52）9月15日。



201 カジマヤーのミチジュネーへ出発する大湾区の松田英徳翁。1989年（平成1）10月13日。



202 トーカチスージのアヤカーイ。波平区の比嘉カマさん。

203 字内各所を回る
渡慶次青年会の
エイサー。



204 楚辺区のエイサー。
ウークイの翌日は男
女青年会員が集まり
字内を練り歩いた。

205 屋敷ナーでエイ
サーを踊る大湾
青年会の面々。





206 ユーイ、ユーイと戦後、40年ぶりに復活した100メートル重さ6トンの長浜区の大綱引き。1983年（昭和58）8月14日。



207 57年ぶりに復活した渡慶次の大綱引き。1992年（平成4）9月20日。

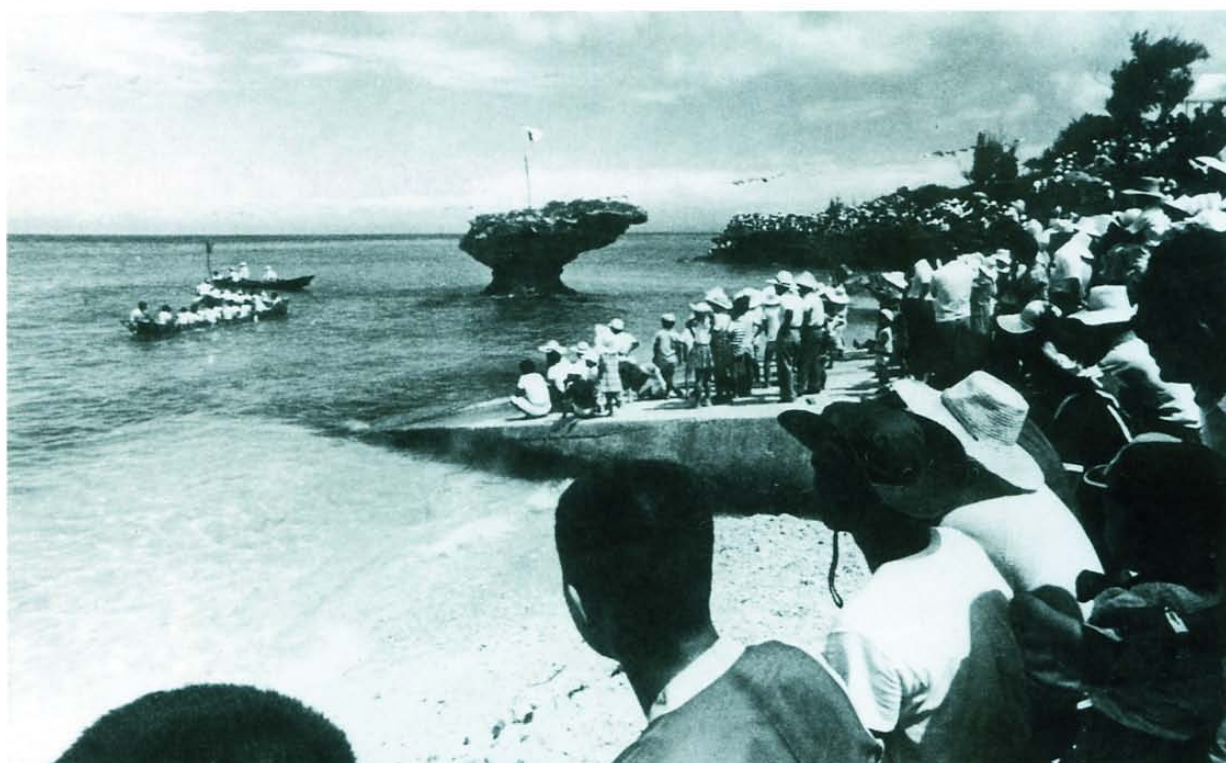
208 古堅区の獅子舞。1987年（昭和62）9月8日。



209 役場によって旧暦が9月
17日に観音堂祭が催され
ている。1960年（昭和35）
10月。



210 喜名区の旗スガシー。
1987年（昭和62）9月。



211 都屋漁港でのハーリー大会。1965年（昭和40）頃。